

参加申し込み・出発前の手続きについて

1. 応募資格 次のすべての条件を満たす者

1

本学学部4年生で、各研究科の実施する大学院試験(6月試験または10月試験)に合格した者

2

心身ともに健康であり、研修先で学業遂行と自己管理ができる者

3

誓約書の内容を理解し守ることができる者

2. 応募方法・受付期間

募集要項および旅行条件を確認し、締切日までに「参加申込書」を記入のうえ、国際交流センターに提出してください。

●受付期間

【一次募集】(6月の大学院入試合格者)
2024年6月24日(月)～7月3日(水)

【二次募集】(6月・10月の大学院入試合格者)
2024年10月21日(月)～10月30日(水)

●提出先：中部大学 国際交流センター(キャンパスプラザ2階)

●受付時間：月～金 9:00～17:00

3. 選考

各研究科が行いますので、各学部事務室等で確認してください。

注意 1. この研修期間には、各学科で行われる卒業研究の発表や審査・進学に必要な手続きや国家試験等が行われることがあります。このことをよく理解して申し込んでください。
2. 参加手続き後に健康上の問題が発生した場合、参加取り消しとなる可能性があります。その際に発生するキャンセル料は学生の自己負担となります。

奨学金

1. 支給金額

20万円(給付型・返還不要)

2. 支給人数

最大20名
※以下の人数を上限として各研究科が受給対象者を推薦します。応募状況に応じて調整することがあります。

工学研究科

7名

経営情報学研究科

2名

国際人間学研究科

3名

応用生物科学研究科

4名

生命健康科学研究科

3名

教育学研究科

1名

3. 選考基準

(1) 各研究科が定める成績水準・英語運用能力を満たしていること

(2) 研修参加後、本学の修士課程または博士前期課程に在学する間、PASEOやオンライン英会話を受講するなど英語学習を継続すること

(3) 研修参加後、留学フェア・各学部での大学院進学説明会等、本学の国際交流行事に協力すること

4. 支給時期

出発前(口座振込み)

5. 支給停止・返納

(1) プログラムへの参加が取り消された場合

(2) プログラム参加者が提出する誓約書の記載事項に反する行為が認められた場合

(3) 受給者が本学の大学院への進学を取りやめた場合(研修参加後を含む)

【研修企画】
中部大学 国際交流センター(キャンパスプラザ2F)
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200
TEL: 0568-51-4694
E-MAIL: cip-o@office.chubu.ac.jp
https://www.chubu.ac.jp/international-exchange/
月曜日～金曜日: 9:00～17:00

【旅行(留学)研修企画およびサポート会社】
GIO CLUB 株式会社 名古屋デスク
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2丁目41-10
アストラーレ名駅7F オフィスプラスN701
TEL: 052-414-4838 / FAX: 052-414-4839
E-MAIL: st-b2b@studyabroad.co.jp
https://www.studyabroad.co.jp/

【旅行(留学)手配会社】
株式会社キャリアメーカー
東京都中央区日本橋三丁目6番2号
日本橋フロント1階
TEL: 03-6634-3355
東京都知事登録旅行業第3-8117号

4. 結果通知

2024年11月下旬頃までに国際交流センターより応募者本人宛に通知します。

5. オリエンテーション等(予定)

2024年12月中旬

第1回オリエンテーション

2025年1月

CASEC 英語コミュニケーション能力判定テスト(必須)

2025年1月中旬

危機管理オリエンテーション

2025年2月上旬

第2回オリエンテーション

2025年3月下旬

帰国後オリエンテーション、成果発表、CASEC 英語コミュニケーション能力判定テスト(必須)

※必ず参加してください。日程は変更される場合があります。

6. 海外旅行保険への加入

【中部大学包括保険制度への加入が義務付けられています】
病気、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への賠償金請求や賠償金の回収が大変困難なのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、十分な額の海外旅行保険に加入する必要があります。中部大学包括保険制度は十分な補償に加え、割引も適用されていますので安心して加入できます。加入については、オリエンテーション時に案内します。

7. 費用の支払い

出発の約45日前

研修費用

研修費用に含まれるもの

■航空券代：中部国際空港から海外所定の空港までの往復航空運賃(大韓航空：経由便)

■空港送迎費用：往路海外所定の空港から宿泊先と、復路宿泊先から海外所定の空港まで

■現地研修費用：全ての英語研修費用、教材費、SSP費用*、ID発行代

■宿泊費用：学生寮宿泊費用(4名1部屋)、宿泊手配費用、施設管理費、光熱費

■食事費用：現地到着から出発までの期間の1日3食の食事代

■空港サポート費用：往路の国内所定の空港での搭乗手続きサポート費用

■現地サポート料金：成功する留学現地デスクによる電話での24時間緊急サポート費用

■事前オリエンテーション実施費用

■海外受注型企画旅行費用：44,000円/税込

* SSP(特別就学許可証)費用：SSP(Special Study Permit)はフィリピン国内で合法的に勉強するために必要な特別就学許可書です。留学先の語学学校が代行申請いたします。

研修費用に含まれないもの 原則として研修費用に含まれるものの以外のもの

■空港税：フライトに付随する燃油サーチャージ、空港税、観光旅客税(2024年3月時点：41,490円)

■交通費：自宅から中部国際空港までの往復交通費、現地での個人的に移動する場合の交通費

■食事費：研修スケジュール記載以外の食事費用、個人的に外食する場合の費用

■アクティビティ費用：アイランドホッピング、市内観光&ショッピングツアー

■海外旅行保険：中部大学包括保険制度による保険費用(約15,000円)、保険対象外の疾病に対する医療費及びそれに付随する費用【必須】

■レンタル携帯電話費用：通話料・データ通信料・ユニバーサル料金(中部大学指定の海外用携帯電話またはSIMカードのレンタル)【必須】

■その他：個人的な諸費用(電話代、通信代、洗濯代、クリーニング代、追加飲食費、お土産代等)

■超過手荷物運搬料金：手荷物規定の範囲を超えるもの

■旅券(パスポート)印紙代：5年用/11,000円 10年用/16,000円

■出発前・帰国後のCASEC受験料【必須】：4,620円(各2,310円×2回)

【上記金額は全て税込価格です】



語学留学で

英語ができる

大学院生になる!

奨学金
20万円!

参加者全員に支給!

大学院進学者のための 海外英語短期研修

募集要項

研修日程

2025.2.23[sun] ▶ 3.8[sat]

大学院進学者のための 海外英語短期研修



Republic of
the Philippines



フィリピン共和国

首都 メトロ・マニラ(通称マニラ)

言語 英語、タガログ語、
ビサヤ語、その他

気候 年間を通して暖かい
熱帯性気候、
年平均気温は 26 ～ 27℃

宗教 カトリック 83%、
イスラム教 5%、その他 12%



語学留学で 英語ができる大学院生になる!

この研修のポイント

- ◆ 世界で英語教育事業を展開する IMS のフィリピン校で実施
- ◆ セブ市内の高級住宅地マリアルイーザにあるキャンパス
- ◆ 日本人の割合が低く、国際色豊かな環境
- ◆ 11段階のレベル別クラス編成で、自分に合った受講カリキュラムで学ぶ
- ◆ 英語 4 技能(読む・書く・聞く・話す)と単語、発音を包括的に学ぶ
- ◆ 学会での研究発表を想定した英語でのプレゼンテーションスキルを向上
- ◆ キャンパス内の学生寮(4人部屋)に滞在



フィリピン留学がいま人気の理由

英語が公用語化されるまでは、フィリピンが先進国に追いつくためには流暢で優れた英語力が不可欠でした。そのため、メディアや教育現場はすべて英語で統一され、英語が公用語化されてから生まれた 30 代以下の世代は、きれいなアメリカ英語を話します。今では英語公用語人口は世界第3位を誇り、英語を駆使して海外で仕事の成功をおさめるフィリピン人も多くいます。タガログ語やビサヤ語などを本来の第一言語として持ち、英語はあくまでも第二言語として習得するため、これから英語を学ぼうとしている英語が話せない人の気持ちも理解しています。



フィリピンの治安

安心・安全な国に住んでいる日本人にとって、フィリピンは決して安全な国とは言いきれません。しかし、研修先の語学学校 IMS が立地するマリアルイーザというエリアは、セブ島の中でも富裕層が暮らす地区で、日常的に危険を感じることはありません。IMS 校内には、防犯カメラが稼働し、警備員も 24 時間体制で常駐しているので安心して留学生生活を過ごすことができます。



フィリピンの衛生面

フィリピンはインフラが整っておらず、日本よりも遅れた状態であるのは確かです。そのため、水道水や屋台での飲食は避けたほうが安全です。ただし、IMS 校内には各所に無料で使えるウォーターサーバーが設置されており、売店やコンビニでボトルのミネラルウォーターを安く買うこともできます。日本との違いをしっかりと認識し、健康に過ごせるよう努めましょう。

研修内容

授業は英会話上達の効果を最大限に高めるマンツーマンとグループの混合形式のレッスンから成り立っており、**受講者の弱点を克服する事に焦点をあてた**組織化された様々なカリキュラムを取り入れて授業が行われます。英語の4技能(読む、書く、聞く、話す)に加え、文法、読解力、作文などの弱点を集中的に学習して**短期間でも最大限の効果を導き出します。**

▶マンツーマンレッスン [1日4コマ]

受講者の語学レベルに合わせた英語 4 技能(読む・書く・聞く・話す)と単語、発音を講師と 1 対 1 で包括的に学びます。

▶グループレッスン [1日2コマ]

クラスメートと一緒にライティングやカンパセーションを学びます。

▶スペシャルクラス [1日2コマ]

ディスカッションやプレゼンテーションを最大6人のグループで実施します。

上記の他に、グループで行われるモーニングクラスやナイトクラスも実施しており、受講者は無料で参加できます。



ラウンジ



カフェテリア



マンツーマンクラス



学校寮内

研修地	フィリピン・セブ島		
研修日程	2025 年 2 月 23 日(日) ～ 2025 年 3 月 8 日(土) 2 週間		
研修コース	Premium ESL (1日8コマ:マンツーマン4コマ+グループ2コマ+スペシャルクラス2コマ)		
滞在先	IMS 学生寮(4人部屋) ※2人又3人部屋になる場合あり		
対象	本学学部4年生で、各研究科の実施する大学院入学試験(6月試験または10月試験)に合格し、入学手続きを終えた者のうち、各研究科の推薦する者(全学で最大 20 名)		
募集人数	20 名(最少催行人数 6 名)		
研修費用	319,000 円/税込	奨学金	200,000 円/税込(給付型)

研修スケジュール(予定)

日次	日・曜日	滞在地	スケジュール	食事
1	2月23日(日)	中部空港 →セブ空港	■セブ島へ出発 中部空港→マクタン・セブ空港 専用車にて宿泊先の学生寮へ移動しチェックイン	朝:× 昼:× 夕:×
2	2月24日(月)	セブ島	■オリエンテーション、レベルテスト、日用品購入など 午前:オリエンテーション、レベルテスト 午後:近くのショッピングモールで両替など生活の準備	朝:○ 昼:○ 夕:○
3～13	2月26日(火)～3月7日(金)	セブ島	■英語研修 終日:語学学校でマンツーマン又はグループ英語研修 1日1レッスン、プレゼンの授業含む ■アクティビティー 3月1日(土)アイランドホッピング(税込10,000円) (オプション:有料) 3月2日(日)セブ市内観光&ショッピングツアー(税込5,000円)	朝:○ 昼:○ 夕:○
14	3月8日(土)	セブ空港 →中部空港	■日本へ帰国 専用車にてマクタン・セブ空港へ移動 マクタン・セブ空港から中部空港	朝:× 昼:× 夕:×

1日の スケジュール

限目	時間	内容
	6:30	朝食
1 限目	8:30	マンツーマンレッスン
2 限目	9:25	
3 限目	10:20	
4 限目	11:15	
	12:00	昼食
5 限目	13:00	グループレッスン
6 限目	13:55	
7 限目	14:50	スペシャルレッスン (グループ)
8 限目	15:45	
	18:00	夕食
1 レッソンは 45 分授業となります。		

研修校 International Maekyung School (IMS) Banilad Campus

フィリピン・セブシティのバニラッド地区にある高級住宅地マリアルイーザに校舎は位置しています。カナダやアメリカ、マレーシアで英語教育事業を展開している語学学校のセブキャンパスです。学校周辺には、様々なお店があり徒歩で散策することが可能。また近くにはエクササイズジムやテニスコートなどもあります。

厳しい基準を経て採用された講師陣により、EPT (English Proficiency Test) による 11 段階にレベル分けしたクラスで授業を受講します。受講者に合わせたシラバスを作成し、弱点を明確にし、短期間で語学力向上が見込めます。

韓国や日本、中国、台湾、ベトナム、モンゴル、サウジアラビア、ロシアなど世界各国から留学生が集まっており、グローバルな環境下で生活・学習することができます。